

消防署「紙上公開シリーズ」

火災予防査察



火災予防査察とは、火災の防止と火災による被害の軽減を図るため行われる消防職員の立入検査であります。この火災予防査察は法律にもとづき、一定の制限のもとに、あらゆる仕事場、工場、公衆の出入する場所、一般家庭などに立入ってこれらの位置構造、設備及び管理の状況を検査し、火災発生危険火災拡大危険の排除、避難誘導の確保等について相手方のために適切な助言と指導を行うもので火災予防行政の最も重要な部門の一つであります。

査察員は誤りのない適切な助言指導をするため建築、電気、危険物、準危険物特殊可燃物、高圧ガス火薬、放射性同位元素、消防用設備、一般火気使用設備器具等火災予防に関する技術的、法律的知識を修得し、火災原因、拡大経過等多くの火災事例を承知し、社会事情に通じ産業経済の発展に即応するよう常に査察能力の向上につとめなければなりません。消防署ではこの火災予防査察を徹底して行うため火災予防査察基準をもうけ、署員は査察員として約100ヶ所位の事業所をそれぞれ受け持ち査察を実施しております。

火の始末、後にと云わずに今すぐに  
(昭和38年防火標語入賞作品 岩松中学校 山田 房子)

(写真) 綿密な査察を行う消防署員

お宅が狙われている  
小さなことでも届出を

「これからの目標は専らなり、人の気持はゆめが、また外出する機会も多くなるため、あざやスリ、それに小暴力行が目立ってきて多くなっています。警察は新しい取締りの班を置いて警戒を強化してまいります。一般の方々も次のように注意ください。」

あき果ねらいを  
防ぐには

①玄関、勝手口はもろもろ、人が出入りできるところへは、すべてかぎをかけること。  
②おきはじまごみなどのをえら

び、目につかないよう、かけ方に工夫すること。  
③ちよつとの外出も必ず近所によつたのんびり歩くこと。  
④預金の貴重品は、人目につかないように分けてしまつておくこと。

スリの被害を  
防ぐには

①外出するとき、必要以外の現金や貴重品をもたないこと。  
②財布や現金を外ポケットに入れないこと。  
③ハンドバックや買い物かごなどに、財布の現金を入れないこと。

小暴力や迷惑  
行為には

①自分の服履の服装に気をつけ相手につけられるスキを与えないこと。  
②見知らぬ人に話しかけられたり、いんねんをつけられたりしても、要領よくあしらつて相手にならないようすること。

「市民世帯調査」にご協力ください  
この度、市では六月十五日現在をもつて次の要領によつて市民世帯調査を行います。  
この調査は市民のみならず、市内全世帯  
単な調査ですから調査員がお伺いしましたら御協力下さるようお願いいたします  
1、調査の範囲 市内全世帯  
2、調査の時期 六月十五日から六月二十五日頃までの間  
3、調査員 市の職員  
お忙がしい時期ですが簡

行政苦情と相談  
心配ごと

★例えば恩給、国税、農地問題、生活保護母子福祉資金、県、国道問題などで困っている方は遠慮なくお出かけ下さい。

期日 毎月10日および25日  
場所 市役所市民相談室

静岡行政監察局  
富士市役所

市制10周年記念行事

甲子神社祭典 7月10日~12日  
天王祭典

市制施行10周年記念行事は、7月10日から12日までにわたつて盛大に挙ります。とくに本年は、例年行われている甲子神社祭典および天王祭典がこの10周年記念行事にあわせ実施することになりましたのでお知らせします

- ★ 天王祭典……7月10日(1日間)
- ★ 甲子神社祭典……7月11、12日(2日間)

貯蓄標語 「しあわせは、くらしのちえから貯蓄から」